

# 病克服、倉口君(2年)が初V

世界寛水流  
王座決定戦

## 東海中心に46クラスで争う



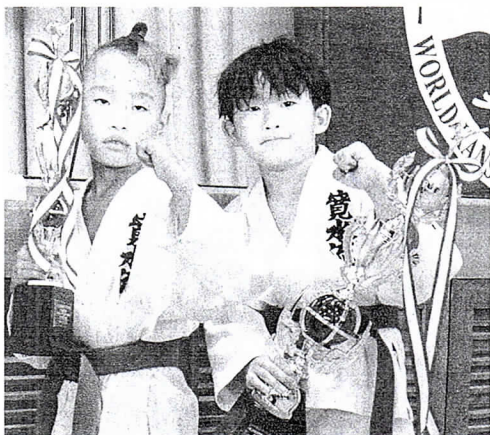
第32回世界寛水流空手道王座決定戦(NPO法人世界寛水流空手道主催)が13日、津市の久居体育館で開催され、小学生男子2年初級・中級の部で市立幸小学校・倉口慧侍君(竜成会松阪北)が初優勝するなど、46クラスを実施し松阪地区から多数入賞した。

大会は競技を通じて、同流派門下生同士の交流と親睦を深めることなどを目的に開いている。第29回大会からは寛水流の内部強化を図るため門下生のみで選手のレベルなどに応じてクラスを細分化して実施している。

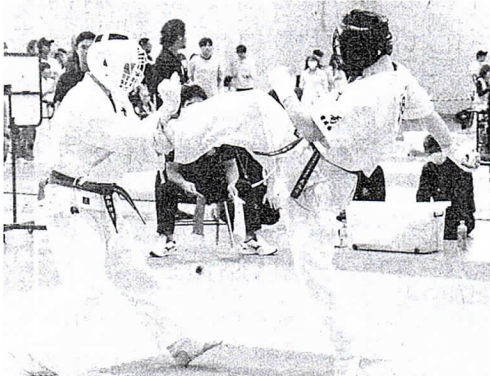
今大会には、三重や愛知県など東海地区の道場を中心に約500人が出場。年齢や性別、実力に応じて46クラスに分かれてトーナメント戦などで優勝を争った。幼児や初心者も1分、中学生以下は1分半、その他は2分間

の直接打撃方式でポイントとK.Oルールで行われた。小学生男子2年初級・中級の部で初優勝を果たした倉口君は、年長の時に竜成会松阪北道場に入門し空手を始めた。

昨年9月、原因不明の難病を発症し一時は車椅子が必要な生活を余儀なくされる可能性があった中、発症からちょうど1年後の9月12日に奇跡的に完治。病気であり練習ができない中、体調を



小学生男子2年初級・中級の部で優勝した倉口君(右)と準優勝の中川君



果敢に蹴りを繰り出すマスターズの部準優勝の三宅選手(右)＝いずれも津市の久居体育館で

完治してからは突きや蹴りを重点的に鍛え今大会に挑み、14人がエントリーする中、2回戦で8月の大会で負けた相手にリベンジを果たし、準決勝

見ながら道場の練習に加え、同じ道場に所属する叔父の友輔さん(31)＝小黒田町＝と自主練習を行い、今年6月と8月の大会に出場。しかし共に1回戦負けし悔し涙をのんだ。

と練習し強くなって、これからある全ての大会で優勝を目指したい」と笑顔で話した。準優勝の中川君は「2連覇できなくて残念ですが次はもっと練習してリベンジを果たしたい」、3位の上山君は「勝つたらうれしいけど負けるとやっぱり悔しい。次は勝てるように練習を頑張りたい」とそれぞれ話した。

が決勝に進出し、昨年の決勝と同じ成道會亀山西の選手と対戦。果敢に攻めるもポイントをとられ準優勝し「昨年よりも相手がかなり強くなってお

り実力差を感じた。1年間鍛え直してリベンジしたい」と話した。

### マスターズ男子

マスターズ男子45歳未満では、連覇を懸け竜成会松阪西道場の三宅基司選手(39)＝駅部田町＝

が決勝に進出し、昨年の決勝と同じ成道會亀山西の選手と対戦。果敢に攻めるもポイントをとられ準優勝し「昨年よりも相手がかなり強くなってお

- 大会の結果●
- (松阪地区道場分、1位の敬称略)
- ▼幼児(年長) 初心＝久保亜美麗(成道會・小野江)
- ▼小学生女子1・2年初心＝三浦あも(同・嬉野)
- ▼同3・4年初級＝中谷琉葵(竜成会・松阪北)
- ▼同5・6年上級＝前田松菜(同・松阪西)
- ▼中学生女子上級＝山本梨乃(同・同)
- ▼高校生女子＝小阪妃可(松阪支部・松阪駅前)
- ▼小学生男子2年初心＝市野翔大(竜成会・松阪西)
- ▼同2年初級・中級＝倉口慧侍(同・松阪北)
- ▼同3年初級＝戸川翔偉

- (同・松阪東)
- ▼同4年初心＝稲継英粹(同・同)
- ▼同4年中級＝北川蒼大(多気支部・相可)
- ▼同4年上級＝谷口朝都(同・同)
- ▼同5年初心＝吉田毅侑(成道會・松阪港)
- ▼同5年初級＝橋本捺希(同・上川)
- ▼同5年中級＝上村銀(同・嬉野)
- ▼同6年上級＝河村颯斗(松阪支部・松阪駅前)
- ▼中学生男子2・3年軽量

- 級＝永田陸(多気支部・勢和)
- ▼同2・3年重量級＝野呂拓生(同・同)
- ▼高校生男子軽量級＝山中幸弥(竜成会・松阪東)
- ▼同重量級＝松江真英(同・同)
- ▼一般段外＝片倉瑠星(多気支部・相可)
- ▼マスターズ女子＝松本明香里(成道會・松阪港)
- ▼同男子45歳以上＝関岡徹(竜成会・松阪東)
- ▼一般有段＝関岡匠(同・同)